

# 妻への しい接し方

5.0

明:信仰心の れとしての、配偶者同士の しさについて。

目:[事代における女性](#)

目:[事崇行とその 残スラム的モラルと](#)

より: IslamReligion.com

日 3 Aug 2010

集日 28 Aug 2010

## 妻への しい接し方



神は男性が妻に しくし、出来る限り最善の をするよう教示しています:

*?...????????????????????...???????? 4?19?*

また 言者ムハンマドは、こう言っています：「最も信仰を完遂する者とは、最高の品位を えた者である。あなた方のうち最も れた者とは、身内の女性たちに して最もよく接する者である。」[\[1\]](#)

慈悲の 言者は私たちに、夫の妻への接し方はムスリムの信仰心の れであるよき品位を反映しているのだ、と言っているのです。一体ムスリムである夫は、いかにその妻にしてよく接するのでしょうか？ 彼は朗らかな 度を心がけ、彼女を感情的に つけず、彼女を害するあらゆるものを取り除き、 しく接し、また彼女に して辛抱 くなければなりません。

しくある、ということにはよきコミュニケーションも含まれます。夫は心を いて、妻のを んで くべきです。多くの 合、夫は（仕事のことなど）自分の欲求不 を解消したいと感じますが、その一方で彼女の み（子供が宿 をしないことなど）を いてやることを忘れてはなりません。また夫は、自分自身や妻が怒っていたり、疲れていたたり、あるいは空腹であったりする に、重要なことを すべきでもありません。コミュニケーションとみ寄り、そして熟考は、 婚生活の土台なのです。

また しくある、ということには、妻を励ますことも含まれます。最も有 な は、真に重要なこと つまり妻の真の を する な心から 信されるのです。ゆえに夫は、妻が最も不安に感じることを自らに い、かつ彼女の を しなければなりません。そしてそれこそが、彼女が褒められたいつぼなのです。夫がそこをくすぐればくすぐるほど、彼女もそれを褒め称え、この好ましい はより目的に ったものとなります。しい言 とは、「 は、君の考え方が好きだなあ」とか、「その服を着ると、 だね」とか、「 は、 で君の声をくのが好きなんだ」とかいう のものです。

人 というものは不完全に出来ています。神の使徒ムハンマドは、こう言っています：

「信仰者の男性が、信仰者の女性を嫌うようなことがあってはならない。もし彼女の性格の一部が に入らなくても、他の 所を喜ぶべきなのである。[\[2\]](#)

男性は妻の何かが に入らなくても、彼女を嫌ったりしてはなりません。もしそれを一つのチャンスとするならば、彼は彼女の中の に入る点を何かしら するはずなのです。妻の好ましい点を半ダ スほど げてリストにしてみることは、夫が妻の好ましい点に 付

く方法の一つです。婚事情に通じている者は、ちょうどイスラムの言者が励したように、妻が夫にしてくれることだけではなく、出来るだけその性格的特に焦点を当て、そしてそこにおいて明晰であるようめています。例えば、もしかすると夫は、妻が彼のきれいな洗濯物を配置する方法をするかもしれません。しかしその行の根底に潜んでいる性格的特は、彼女には思いやりがあるということかもしれないのです。夫は、同情的、前がよい、切、信心深い、造的、上品、正直、情か、精力的、やか、的、り甲斐がある、自信家、明るい、などといったにする特を考しなければなりません。夫は、このようなりストを作成するをつけ、妻を最も嫌ってしまいそうな立のに、それをチェックし直すべきでしょう。そうすることで彼は妻のよい特に付き、よりそれらを褒め称えたくなくなるにありません。

ある、神の使徒ムハンマドの教友の一人が、こうねました：「妻の夫にする利は何ですか？」彼はこう答えました：「あなた方が食べるに食べさせ、着るに着させ、そのをぶったりしないことである。彼女らをけなしたりせず、家の中以外では彼女らを避けたりしてはならない。」[\[3\]](#)

婚におけるは、的に不可避であり、それは大きな怒りをもたらすものです。そして怒りはそのが最も困な感情の一つですが、そのコントロールへの第一が、自分をつける者をいかに赦すか、ということ学ぶことなのです。にある合、夫は妻にしかけることを止めたり、あるいは彼女を感情的につけたりするべきではありません。しかしそれが状の改善につながるのなら、彼は彼女と同じベッドで寝ることを中断することは出来ます。しかし例え夫が怒りを感じていたり、あるいは自分に非はないと思っていたりしても、彼はいかなる合であっても妻をつける言でけなしたり、つけたりしてはならないのです。

---

## Footnotes:

[\[1\]](#) アッ=ティルミズィのしている承。

[2] ムスリム の 承。

[3] アブ ダウド の 承。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/27>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。